

加茂商工会議所・新潟経営大学 包括連携協定記念講座 連携講座「地域と観光」開講

今年は、観光経営学部全教授陣が課題の発見と解決をリレー講義でつなぎます

掲題のとおり、連携講座「地域と観光」を開講します。

本講義は、観光経営学部の1年次配当授業を一般公開して開講するもので、地域貢献の一環としての役割を担います。

昨年は、観光経営学部の実務家出身教授陣と特別客員教授が講師を務めるオムニバス講座として開講しました。おかげさまで、期間中にのべ約700人に受講いただき大好評のうちに閉講しました。

本年度は、加茂商工会議所と新潟経営大学の包括連携協定にもとづく協働の一環として、主催：新潟経営大学・地域活性化研究所、共催：加茂商工会議所として開講します。

講座は同学部の教員全員が教壇に立つオムニバス講義です。講座を通して、各教員の講義のテーマに合わせて課題を提起し、次の講義を担当する教員が自らの専門分野で課題を解決する提案をし、さらに講義のテーマに合わせた課題を次の教員に送る「キーワード・リレー形式」で講座を進めます。

課題の発見と解決を繰り返し、持続的に議論を展開する授業により、多角的な観点から問題を発見し解決する能力を養う講座を実現します。

開講日：

**平成30年7月5日(木) 7月6日(金) 7月13日(金)
7月20日(金) 7月27日(金)**

一般公開授業は、ともに9:00~12:10まで
講義内容は、別添のチラシをご覧ください。

なお、本講座は新潟県立生涯学習センター「いきいき県民カレッジ登録講座」です。

-----報道関係各位からのお問い合わせ-----

新潟経営大学 観光経営学部 藪下 落合(純)
総務会計課 中川 竹内

加茂市希望ヶ丘 2909-2 TEL 0256-53-3000 (代表)

加茂商工会議所・新潟経営大学
包括連携協定記念講座

連携講義 地域と観光

開講期間 平成30年
7月5日(木)～7月27日(金)

聴講無料

定員：各回 70名

主催 / 新潟経営大学 観光経営学部・地域活性化研究所 共催 / 加茂商工会議所

7/5 (木) ◆10:40～12:10 キックオフ講演 加茂商工会議所 会頭 太田 明氏

7/6 (金) まちと経済でつむぐ

◆9:00～10:00

宿泊産業から
シェアリングエコノミーを考える

出口高靖 教授



◆10:00～11:10 ※休憩含む

訪日外国人を誘致するため
地域資源の活用について

バロリ・ブレンディ 講師



◆11:10～12:10

コンテンツ・ツーリズム
(アニメ・映画・TV・日本食)とまちづくり

近藤政幸 教授



7/13 (金) 食と農でつむぐ

◆9:00～10:00

“地域で観光を行う、
観光で地域が潤う”には

里村孝一 教授



◆10:00～11:10 ※休憩含む

成功事例に学ぶ
農産食品のブランド化

滝沢憲一 准教授



◆11:10～12:10

地域アイデンティティを核とした
持続可能な観光資源の
高度な活用プロセス

小畑博正 教授



7/20 (金) 産業と情報でつむぐ

◆9:00～10:00

産業集積地における中小企業の
ネットワーク構築の過程分析
— 燕産業集積域内外の受発注状況に注目して—

渡貫正治 特任教授



◆10:00～11:10 ※休憩含む

地域おこし協力隊隊員の心理に
影響を与えるものは何か？

落合 純 講師



◆11:10～12:10

デジタル・マーケティングで見る
地域の観光

藪下保弘 教授



7/27 (金) クロージング

◆9:00～10:00

留学の意義について考えよう

井上信恵 講師、
サウスウィック・ブライアン 准教授



◆10:00～11:10 ※休憩含む

ミニ・パネル・ディスカッション
「グローバルでつむぐ」in English

コーディネータ イワン・ツェリツェフ 教授
パネリスト 野澤義明 教授、井上信恵 講師、
サウスウィック・ブライアン 准教授



◆11:10～12:10

県央学の胎動

大宮 誠 教授



受講のお申込み・お問い合わせ

新潟経営大学総務係 中川、竹内

電話 0256-53-3000

電子メール info@niigataum.ac.jp

会場

新潟経営大学キャンパス

〒959-1321

新潟県加茂市希望ヶ丘2909-2

受講料無料
定員各回70名

連携でつむぐ！グローバル・コミュニティ 加茂商工会議所・新潟経営大学 包括連携協定記念講座

希望の講義に○を
付けてください

連携講義 地域と観光 参加申込書

7/5 (木)	■キックオフ講演 10:40~12:10	加茂商工会議所 会頭 太田 明氏
7/6 (金)	■宿泊産業からシェアリングエコノミーを考える 9:00~10:00	出口高靖 教授 現在の宿泊施設は、ホテル、旅館、民宿にシェアハウス等、その形態は多様です。これらの宿泊施設のマネジメントを検証することにより、宿泊産業における方向性(所有・経営・運営の分離)とその課題を明らかにします。さらに、宿泊産業も含めたあらゆる産業におけるシェアリングエコノミーの形成過程と方向性を考え、こうしたサービスがどのような業界まで広がるのかを概観します。
	■訪日外国人を誘致するため地域資源の活用について 10:00~11:10 ※休憩含む	バロリ・ブレンディ 講師 観光庁がまとめた「日本の観光政策の概要」(2017年)によれば、日本の定住人口1人当たりの年間消費額(125万円)を旅行者の消費に換算すると外国人旅行者8人分です。これは、国内旅行者(宿泊)25人分、国内旅行者(日帰り)80人分に匹敵します。 外国人観光客の誘致は、日本の経済成長と地域活性化に必要不可欠です。本講義では、外国人目線から外国人観光客のニーズを説明し、新潟県の地域資源活用について述べていきたいと思います。
	■コンテンツ・ツーリズム(アニメ・映画・TV・日本食)とまちづくり 11:10~12:10	近藤政幸 教授 少子高齢化に伴う経済減少に直面するわが国において、経済の持続的な成長を実現させていくためには、著しい経済成長を遂げる新興国をはじめ外国の旺盛な外需、インバウンド需要を獲得していくことが必要です。世界の旅行人口はこの60年で3000万人から15億人に拡大しています。また世界の人口も30億人から80億人に増加しています。 日本の生活文化の中で育まれたコンテンツ、アニメ、TV映画、日本食等は海外において高い人気を博しています。他国に真似できない、追従できないクールジャパンであり、今後の日本経済の重要な観光戦略となります。
7/13 (金)	■“地域で観光を行う、観光で地域が潤う”には 9:00~10:00	里村孝一 教授 わざわざ時間を割いて、コストをかけて、お客様に地域に来ていただくためには、常に受け入れ側の魅力ある活動が大切です。農産物の豊かな地域では、「農村空間の商品化」という農分野(農と食)に特化し、“農業で観光を行う、観光で農業が潤う”という農観連携行動は、農業県新潟にとって大切です。一方、農業は生命・生活産業でもあり、農業と商工業が混在する地域では、“地域空間の商品化”という視点で、積極的な農工商観連携型の産業観光の取組を進める必要があるのではないのでしょうか。
	■成功事例に学ぶ農産食品のブランド化 10:00~11:10 ※休憩含む	滝沢憲一 准教授 日本には様々な美味しい食材が各地に存在しています。その土地でしか作られていない食材はごく稀です。ブランド化を成功に導くためには、その食材にほれ込み突き進む仕掛人の存在が欠かせません。仕掛人の活動は、周囲の人々の共感によって大きなうねりとなり地域を動かし、ブランド化へと進展します。そんなブランド化の成功事例を通して、皆さんと県央地域のブランド化、さらには活性化を一緒に考えていきたいと思います。
	■地域アイデンティティを核とした持続可能な観光資源の高度な活用プロセス 11:10~12:10	小畑博正 教授 どの地域においても存在し、地域の知恵と工夫と日常が育み、地域アイデンティティを伴って地域ブランドとなった「食」という観光資源を創出することが、希望ある地域社会づくり戦略として、また地域全体に影響を及ぼす交流人口拡大による経済波及効果をも成し遂げる、“二兎を追う”持続可能な観光の取り組みであることを、「食」の集積で賑わうスペイン・バスク自治州サン・セバスチャンを事例として解説します。
7/20 (金)	■産業集積地における中小企業のネットワーク構築の過程分析 ー燕産業集積域内外の受発注状況に注目してー 9:00~10:00	渡貫正治 特任教授 本講義では、産業集積地に所在する企業が経営戦略として外部要因をどう取り入れ、活用しているのかを分析し、企業間分業のネットワーク構築までの過程を議論します。そして、産業集積の機能がどのように活かされ優位性あるネットワークにつながるのかを検討します。 なお、はじめに新潟県内の地場産業産地の現況について触れ、地場産業産地のイメージを具現化します。
	■地域おこし協力隊隊員の心理に影響を与えるものは何か? 10:00~11:10 ※休憩含む	落合 純 講師 農山漁村地域などの少子高齢化への早急な対策の1つとして、「地域おこし協力隊」という取り組みがあります。地域外から若者呼び込み、地域活性化活動を通して、最終的に定住してもらうことを目的としているのですが、そのためには彼らの心理がどのようなものであるかを把握する必要があります。本講義では、新潟県を事例に、隊員の心理面に影響を及ぼす要因を探索・検証した結果について述べたいと思います。
	■デジタル・マーケティングで見る地域の観光 11:10~12:10	藪下保弘 教授 新潟経営大学観光経営学部では、学生と教員が協働して地域の観光振興に取り組むべく調査研究を進めています。日々の活動から、既成観念では当然と思われていた常識を払拭する事実が明らかになるなど、わずかながらもその成果が蓄積されています。本講義では、これまでのスタディをとおして得られた知見から課題を提起し、経営学の視点で問題の解決策を考えます。
7/27 (金)	■留学の意義について考えよう(英語講義) 9:00~10:00	井上信恵 講師、サウスウィック・ブライアン 准教授 日本政府は、2020年までに日本人の海外留学生数を12万人へ倍増する目標を掲げ、世界の明日を担うグローバル人材の育成に力を入れています。しかし、人はなぜ世界で最も安全な国の一つと言われる日本をわざわざ飛び出してまで留学するのでしょうか。本講義では、留学のもたらす効果やメリットについて考え、多様化する留学プログラムの種類を紹介しながら、留学の意義や在り方について考えます。
	■ミニ・パネル・ディスカッション「グローバルでつむぐ」 in English 10:00~11:10 ※休憩含む	コーディネータ イワン・ツェリツェフ 教授 パネリスト 野澤義明 教授、井上信恵 講師、サウスウィック・ブライアン 准教授
	■県央学の胎動 11:10~12:10	大宮 誠 教授 地域学を大別するならば、一つの系統は人文科学・社会科学・自然科学を統合的、俯瞰的に再編成する学問的営為、もう一つは、生涯学習事業としての地域学の系統です。県央地域の原始から現代までの自然環境や歴史・政治・経済・文化・産業などの発展過程のみならず、「地域と観光」が「県央学」として地域の中核人材輩出に資する学問に進化(深化)する期待をもって講座をしめくります。

受講のお申込み・お問い合わせ

新潟経営大学 総務係(中川、竹内)まで
お電話 または 電子メール でも受付しております

電話 0256-53-3000 電子メール info@niigataum.ac.jp

※メールにてお申し込みの際は、

①講座名 ②受講者氏名 ③電話番号 ④お住まいの市町村 を明記願います。

お預かりした個人情報は、本学の規定に従い適正に管理します。



ふりがな		年齢	歳
氏名		性別	男・女
電話番号			
住所	〒		
E-mail			

※お持ちの方は、任意にご記入願います。